

令和6年度第4回三鷹市農業公園運営懇談会議録

開催日時 令和7年3月21日（金曜日）午後6時30分から午後7時30分まで
開催場所 三鷹市役所第二庁舎4階 242会議室
傍聴者 なし
出席者 懇談会委員10人/16人

次第

- 1 座長あいさつ
- 2 議題

三鷹市農業公園20周年記念事業のまとめについて

【事務局説明】

資料2-1～2-3を基に事務局説明

（各委員からのイベントの感想）

【委員】園内の伐採したケヤキの木を使用した立派な樹名板を作成できてよかった。ただすでに文字が消えかかっているの、文字の日焼け対策などの検討が出来ればよかったと思う。樹名板自体は立派なので、今後はメンテナンスが必要と感じる。パラバルーンは風や砂ぼこりが心配だったが、想定よりも被害が少なかったのが良かった。次回の開催が10年後だと事務局職員も懇談会委員も総入れ替えしていると思う。可能であれば3～5年間隔で開催したほうが、ノウハウを蓄積でき、次回に活かせるのではないかと感じた。

【委員】スタッフも来園されたお客様も、終始和やかで穏やかなイベントだった。今までは緑化センターと農業公園の周年事業は別で実施していたが、今回は緑化センターだけでなく、JA 青壮年部やICUも参加して、とても一体感があつた。また農業体験に参加していた子ども達も飽きることなく最後まで楽しんでいてよかった。終盤に農業体験に参加した保護者の方から、ぜひ5年後にやってほしいとの意見があつた。やはり次回が10年後だと期間が空いてしまい、知識が0に近い状態からになってしまうので、5年ごとに実施してもよいと思った。

【委員】当日は参加できなかったが、次回は参加したいと思う。

【委員】今回初めて参加したが、とても和やかなイベントだった。他のイベントだと一生懸命お客様に声をかけたりするが、このイベントは自然の流れの中で販売できてたと思う。ただお子さま向けの出店が少なかったように感じた。

【委員】前回の10周年事業も参加して、今回の20周年事業にも参加できた。天気に恵まれてよかった。緑化センターのお客様が参加してよいのか躊躇している場面が見受けられたので、イベントにうまく取り込めるような案内係がいるともっと盛り上がったと感じた。

【委員】市長の話にもあつたが、20年前の農業公園の開園にあたり、いろいろな話合いが行われたのが信じられないほど穏やかなイベントとなった。ただ事務局の準備など相談があれば手伝えることがあつたのではないかと感じた。子ども達が積極的に参加してくれたのはとてもありがたいと思う。ただこの事業が毎年となると職員の負担が重いと感じた。

【委員】農業体験を担当したが、早朝からの事業だった。普段は植木を栽培しているので、野菜栽培はしていなかったが、子ども達と一緒に楽しみながら参加できた。また子ども達は自分で栽培した作物を収穫することができ、とても勉強になったと思う。

【委員】当日は子ども達と一緒にふかし芋を作った。また機会があれば参加したい。

【座長】公園課としての視点でみると、農業公園はどのような印象があるのか。

【委員】他の公園と比較すると、広さも十分あるのでプレイパークに使用させていただいているし、火も使用できるし、緑化センターもあるので羨ましく感じる。

【座長】他の公園に比べると広さがあり、火気も使用できるので、その利点を活かして他に事業を実施したほうが良いなど意見があれば知りたい。

【委員】現状で十分だと思う。ただ桜の木が多いので、将来枯れないように手入れは必要と思う。

【事務局】イベントの目的のひとつに「子ども達に農業の楽しさを知ってもらおう」ことがあつた。約半年間の農業体験を通して目的は達成できたと思う。イベントの事前準備は役割分担を検討する時間がなく、事務局で進めたため次回以降の反省点としたい。

【座長】農業体験は、大人も子ども達と一緒に学んだ部分が多かったと思う。農業体験で使用した資料等は知らなかったことも多くあつた。また畑作業の後に資料で振り返りができて、遊びの中に学びがある感じが印象に残った。うまく農業への興味に紐づけられたのではないかと感じた。

【副座長】近年稀にみる、市民の方も取り入れた一体感ある事業になったと思う。初回の打ち合わせの時に、座長が子ども達に「どうやったら農家になれるの？」と質問されたことがきっかけで、子ども達に農家の一連の仕事を体験させる企画ができた。最初はイベントとして成り立つのか不安もあつたが、

白板に書き出しながら農地の多目的機能やマルシェなどイベントの柱となる企画を考えて成立することが出来た。また比較的短期間で事業を実施できたのは、個々がそれぞれの役割を果たせたことが大きかったと感じる。10年後のノウハウの心配もあるが、今回は10年前を引き継がずに事業を実施したので、ノウハウよりも農業公園への想いを引き継げればよいのではないかと思う。

【事務局】 農業体験の資料は畑作業だけではなく、農業の成り立ちを視覚的に理解してもらえるように資料を作成した。イベントを毎年行くと前年の作業に引っ張られてしまい、例年固定されたノウハウから離れられなくなってしまう可能性がある。その時の時代の背景にあわせてイベントを開催することも新しい取り組みではないかと感じた。ただ毎年実施すると準備も効率化できる部分もあるので、一長一短ではあると思う。

(質疑・応答)

【委員】 今年は20周年事業で子ども達向けの農業体験を行ったので、例年行っている大人向けの体験農園は行っていないのか。

【座長】 大人の体験農園も行っている。隣地の農地を借りて子どもの農業体験を行った。

【委員】 子どもの体験農園はどのくらいの申込があったのか。

【事務局】 募集は20名で、申込は8名だった。

【座長】 途中から参加したいという要望はあったが断った。熱中症対策も考えて畑作業は短時間で切りあげていたが、子ども達は畑作業を楽しんでいて、物足りない様子だった。農業体験が終っても保護者の方と一緒に畑に来る子が数名いたり、収穫後の様子を見にくる子もいた。

【委員】 普通は収穫して終わりだけど、収穫した後の畑の状態に興味を持って見に来ることはとても貴重だと思う。

【座長】 失敗作もあったが、そのことも含め、良い体験になったと思う。

【委員】 今後は大人だけでなく、子どもの体験も定期化してもよいと思う。

【座長】 検討の余地はあると思う。

3 その他

令和7年度市民文化祭菊花展について

【事務局】

資料3を基に事務局説明

例年、市民センター中庭で実施しているが、令和7年度は工事のため使用不可。担当課より農業公園を会場として使用したい旨の申出あり。市としては、菊花展は農業に関連のある事業のため、賛同したいと考えている。

【委員】 対象予定地は木々が多くあるため、事前に下見等していただければ問題ないと思う。

【事務局】

- ・農業委員会開催「第5回農の四季コンテスト」のご案内
- ・農業委員会発行「第14回鷹場の台地」の配布

【座長】 本日の会議で、今期の農業公園運営懇談会が終了となります。今期の懇談会は、農業公園20周年イベントの実施という節目の期となりました。また無事にイベントを開催できたのは、皆様のご尽力のおかげです。誠にありがとうございました。今後もいろいろな形で農業公園に携わっていただけると幸いです。それではこれを持ちまして、令和6年度第4回三鷹市農業公園運営懇談会を終了いたします。ありがとうございました。